

令和2年度6月補正予算の概要
【農業関係抜粋】

環境農政局

令和2年度6月補正予算の概要

㊦印は、令和2年度新規事業です。
丸数字は、事業の対象区域を示すものです。

- ① 全市町村、② 政令市を除く市町村、
- ③ 政令市・中核市を除く市町村、④ 特定市町村、
- ⑤ その他

新型コロナウイルス感染症対策

1 食品産業への支援について

㊦ 食品産業支援事業費補助 ① 5,706万円

減少したインバウンド需要の回復や、停滞している農林水産物・食品の輸出力の維持・確保を図るため、外食事業者が行う衛生設備の導入等に要する経費を補助するとともに、食品事業者が行う輸出力維持等に係る施設整備等に要する経費を補助する。

2 県産和牛肉等の需要喚起について

㊦和牛肉等学校給食活用緊急支援事業費補助 ① 2億5,000万円

インバウンドや外食の需要の減少等により、価格が下落している県産和牛肉等の需要喚起を図るため、県内の学校給食での県産和牛肉等の提供に要する経費を補助する。

3 県産水産物等の需要喚起について

㊦水産物学校給食活用緊急支援事業費補助 ① 1億6,000万円

インバウンドや外食の需要の減少等により、価格が下落している県産水産物等の需要喚起を図るため、県内の学校給食での県産水産物等の提供に要する経費を補助する。

4 フードバンク活動の推進について

一部㊦フードバンク活動推進事業費 補助 ① 97万円

食品ロス削減を推進するため、フードバンク活動の普及啓発等に要する経費を補助する。

補正予算以外の対応

- ・ 国や県の補助金や給付金などの支援制度について、市町村と連携して周知するとともに、県のホームページにおいて、制度資金の特例措置などについて広く情報提供している。
- ・ 普及指導活動の中で、技術的な支援に加えて各種の支援制度についても積極的に紹介し、経営継続の支援を行っている。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大により、需要を失った生乳の行き場を確保するため、一般社団法人Jミルクが行う牛乳等無償提供事業の実施に協力し、県ホームページでの周知など県内の医療・福祉施設等における牛乳の需要喚起に取り組んでいる。
- ・ 水産業者の経営資金については、国の無利子・無担保制度の活用を促すとともに、既に貸し付けている県の制度資金である漁業近代化資金や沿岸漁業改善資金については、償還猶予の措置をとっている。
- ・ 新型コロナウイルスの影響で、予定していた販路がなくなってしまう等により直販を始めた生産者等の販売情報を、かながわ産品情報発信サイト「かなさんの畑」内で発信している。